

令和2年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立中野工業高等学校			進路実績 特徴	4年制大	9%	短大	1%	専門学校	25%	就職	62%	その他	3%
		エンカレッジスクールに属する工業高校として、生徒をカづけ、自信をもたせ、一人一人の潜在的な能力を伸ばす。				資格取得(食品衛生管理者、危険物乙4類、バイオ技術、基礎製図検定等)									
基	在	所在地	〒165-0027 中野区野方三丁目5番5号	電話番号	03-3385-7445	基	主な部活動								
		アクセス	(1) 西武新宿線野方駅下車7分 (2) JR中央線中野駅下車 関東バス野方行(約20分) 終点下車徒歩5分 (3) 西武池袋線練馬駅 関東バス・高円寺行・野方駅南口下車徒歩3分				バレーボール、サッカー、バスケットボール、バドミントン、音楽、吹奏楽、等								
本	情	学 科	工業科(キャリア技術科)			情	学校評価								
		在 籍 数	生徒数 373名(男子284名、女子89名)				満足度(学校生活の充実度) 生徒 62%、保護者 70%								
報	報	教育課程の特徴	1学年は国語・数学・英語で30分の習熟度別授業を実施。2学年からは各類型に分かれ、専門技術を学ぶ。			報	募集人員								
		ホームページ	https://www.metro.ed.jp/nakanokogyo-h/				推薦選抜:56名、分割前期:63名、分割後期:21名								
目	指	その他	平成30年度よりエンカレッジスクール開始、キャリア技術科に改称	校 服	制服	報	募集率								
		その他	自律経営推進予算 02年度(単位:万円)	2,835	グレー系ブレザー		グレー系ブレザー	30年度入学生 推薦 1.25 分割前期 1.01 分割後期 0.69 31年度入学生 推薦 分割前期 0.7 分割後期 0.46 02年度入学生 推薦 分割前期 0.94 分割後期 0.68							
その 他															
その他の特徴 推薦選抜で定員の40%を募集し、分割前期と後期を実施することで、受検の機会を増やしている。															
主な学校行事 体育祭(6月中止)、中工祭(文化祭・10月中止)															

目指す学校 (1)入学し、卒業してよかったと思える学校 (2)落ち着いて学べる環境をつくり、能力に応じたきめ細かい学習活動を行い、学力を伸ばさせる学校 (3)一人一人の人権を尊重し、社会的規範と思いやりの心を育てる学校 (4)主体的、意欲的に進路選択ができる能力とともに、社会性を育成する学校 (5)保護者や地域住民と連携して生徒を育てる地域に開かれた学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	基礎学力の定着と学力の向上 ①学力向上推進校(校内寺子屋)の指定により放課後や長期休業日中の補習等の実施し、義務教育段階の基礎学力の定着を図る。②補習や宿題、週末の課題等による学習習慣の定着を図る。③資格取得を奨励し、学習意欲と自己達成感の醸成を図る。	①教務部、教科(国、数、英)、担任が連携を図りながら対象生徒の選抜、寺子屋事業の計画などを行い、1学年生徒の基礎学力の定着を図った。しかし、補習開始の時間に遅れる。集中して学習できない。無断で欠席するなど様々な課題は残った。成果については次年度に繋げていきたい。②各教科では、プリントに書き込ませ回収するものや、毎授業で小テストを実施するなど、学習の成果が見えるように工夫した結果、生徒の学習習慣が定着してきた。③キャリア技術科教員と担任が連携し、計算技術検定、危険物取扱者、ガス溶接技能講習などできるだけ多くの資格取得を奨励し、多数が合格した。	
目標②	組織的な対応による中途退学者や不登校生徒の減少 ①自立支援継続校として、SCやYSWとの連携を深め、組織的な対応を図る。②地域行事への参加、研究発表大会等への参加を奨励し、自己肯定感や達成感を醸成し、学校への帰属意識を高める。③特別な支援を要する生徒の対応として、個別支援計画を策定する。	①コロナ禍で精神が不安定な生徒が多い中、自立支援継続校として、SC、YSWと連携を図りながら生徒への支援活動を行い、中途退学防止に向けての取り組んだ。組織的な対応や情報共有により、中途退学や転学する生徒数は減少した。②生徒会を中心として、地域行事である「のがたのまち探偵団」に参加。また、ボランティアサミットファイナルにも参加した。オリンピックパラリンピック教育の一環で「環境保全」に取り組んだ。また、工業科生徒研究発表大会には書面ではあったが発表することができた。③特別な支援が必要な生徒に対しては、全教員で情報を共有し、SC・YSW委員会を中心となり個別の対応を心掛けた。	
目標③	キャリア教育の充実と生徒の進路希望実現 ①インターンシップや企業見学を充実させ、進路希望実現への意欲を高める。②個々の生徒の進路希望の実現に向け、講習・補習等を組織的・計画的に実施する。③進学希望者への学習指導を計画的に実施し、受験に対応できる学力を身につけさせる。	①昨年度と比較してコロナ禍の影響でインターンシップ生徒受け入れの企業は減少したが、全教員が協力して生徒が希望する企業で実施することができた。2学年は、自分の進路についてじっくりと向き合うきっかけとなった。②求人数はかなり減少したが、生徒の進路実現に向けて、複数回の進路ガイダンスを実施し、就職試験対策として、全教員の面接指導やSPI指導を行った。進路未定者は3名であったが継続して就職に向けて指導する。③進学希望者の多くは専門学校で受験方法も推薦入試がほとんどで一般入試受験者は少なかったが、入学後を見据えた指導を行った。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	29年度		30年度		31年度		今年度		03年度	04年度	05年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	学校評価アンケートにおける生徒の学校生活満足度90%	100	71	100	75	80	62	80	57	80	80	80
目標②	1,2年次における企業見学・インターンシップの生徒の参加率100%	100	100	100	100	100	100	100	97	100	100	100
目標③	全教員によるICT機器を使った研究授業の実施率100%	80	60	80	65	80	80	80	90	80	80	80